

大牟田庁舎再発見カルタ

国登録有形文化財の大牟田市庁舎本館の歴史や魅力を再発見してもらおうと、市民団体「大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ」(中野浩志理事長)が本館をテーマにしたカルタを作った。絵札の作画と読み札の書は、同市の明光学園中学・高校の生徒たちが手がけた。

(田中誠也)



市庁舎本館を題材にしたカルタ

市民団体制作

明光学園中高生が絵や書



カルタを紹介する(左から)田中さん、長さん、藤木副理事長

本館は戦前の1936年に完成。鉄筋コンクリート造4階建てで、天井に植物をモチーフにした文様が施されるなど当時の建築様式を伝えている。市は庁舎を新築する方針で、文化財の本館については2023年度中に取り扱いを決める。

ファンクラブは、本館の魅力を伝えるツールとして、昨年11月からカルタ制作に乗り出した。読み札の句は市民から公募し、総合美術コースがある同校に絵札の作画と読み札の書を依頼。美術部や書道部の中学生45人が冬休みや放課後などの時間を利用して、約4か月間かけて完成させた。

真生さん(高校3年)と長瑞希さん(同2年)に300セットを手渡した。作画を担当した長さんは「(本館の)外観はよく見ているが、内装についてはほとんど知らなかったの、絵を描くのは楽しかった」と話した。

ファンクラブは、1セット税込込み1000円で販売予定。問い合わせは、藤木さん(090・7469・0517)へ。

「え」の読み札は、「駅に降り 市庁舎見れば心安らぐ」とし、絵札には本館中央にそびえる塔屋をデザイン。「サラセンに思いを馳せる 暖炉の火」とした「さ」の読み札には、サラセンと呼ばれるイスラム中近東風の模様が残る貴賓室を絵札に描くなど、本館の特徴をふんだんに盛り込んでいる。日本郵便の助成金170万円を活用し、1000セットを作った。

5月24日には、ファンクラブの藤木雄二副理事長が同校を訪れ、美術部の田中

空爆の焦土の街に仁王立ち

大牟田市庁舎かるたを制作
NPO 明光学園高生が絵札

完成した「大牟田市庁舎かるた」

旧炭鉱の施設などを地域おこしにつなげているNPO法人「大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ」が、市民から読み札の句を募った「大牟田市庁舎かるた」を今月、完成させた。小中学校や高校に配るほか、1組千円で販売する予定だ。

読み句は2020年11月から募集。「句作りの参考

に」と、国登録有形文化財の市庁舎本館の見学会も開き、市内外から約200句が寄せられた。クラブの「かるた制作委員会」が句を選定、市内の明光学園高・総合美術コースの生徒らが絵札を描いた。

採用された句は「うれしい時も 悲しい時も 庁舎前」「空爆の 焦土の街に 仁王立ち」「鳥の目で見

る 市庁舎背後の工場群」など。本館の歴史や思い出が込められている。句の解説書もあり、1956年の大牟田市街地の風景や、本館の大理石の中央階段、貴賓室の暖炉の装飾など写真も添えられている。

クラブ関係者は「かるたを通して本館の価値や魅力を知ってほしい」と話す。本館見学会も受け付ける。

藤木雄二 副理事長 090(7469)0517。

(立山和久)

「大牟田市庁舎かるた」完成

明光学園の書道部と美術部



完成したかるたを手にする明光学園の生徒と炭鉱のまちファンクラブの藤木副理事長(右)

揮毫とデザイン手掛ける

大牟田市の私立明光学園の中高生が、国登録有形文化財である大牟田市庁舎本館(19

36年完成)について、絵札のデザインと読み札の揮毫をした「大牟田市庁舎かるた」が完成した。

郷土史を発掘継承するNPO法人「大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ」が2020年11月から制作を進めた。読み札の句は市民から募集した上

ある。

同クラブはその句の揮毫と内容に合う絵札デザインを同校に依頼。コロナ禍で腕を試す機会が減っていた書道、美術両部が快諾し、それぞれ揮毫、デザインを担当した。

24日、同クラブの藤木雄二副理事長が完成品を明光学園に届けた。美術部3年、田中真生さんは「写真を見ながらタブレット端末で描いた。市外の人にも手に取ってほしい」、同2年の長瑞希さんも「庁内に暖炉跡や装飾があるのを知れて楽しかった」と語った。

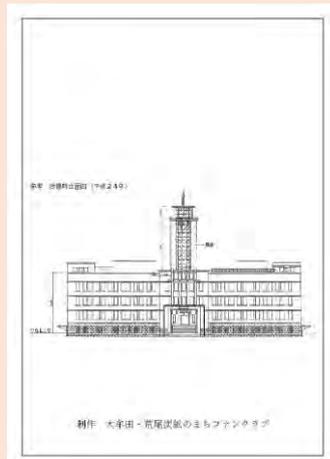
藤木副理事長は「本

館や市の歴史を知り、考えるきっかけになる」と活用を呼び掛けた。1000セット作り、1セット1000円で販売する。制作費80万円は日本郵便の年賀寄付金配分事業助成を活用した。藤木副理事長(090・7469・0517)。

本館は戦前の地方官庁の様式を今に伝えるが、耐震性に不安があり市は19年に解体方針を発表した。しかし、市民グループや日本建築学会が保存を要請し、現在は飲食店などとして民間活用を図りつつ新庁舎も別に整備する検討をしている。

【降旗英峰】

特定非営利活動法人 大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ



大牟田市民の皆さんから読み句を募り、明光学園高校の生徒が絵や札を書いて「大牟田市庁舎かるた」を作りました。

囲んでいる札は景観まちづくりに関連する読み句です。